## 「寄せ付けない」「侵入を防止する」「個体数を減らす」の3つの取組による被害の軽減と

### サル被害対策への新たな取組の実施 一鹿児島県鹿屋市ー

○ 増加するイノシシによる水稲やいも類、サルによるいも類への被害に対応するため、集落ぐるみの意識啓発や専門員による指導(寄せ) 付けない),侵入防止柵の設置(侵入を防止する),有害鳥獣捕獲(個体数を減らす)の3つの取組を実施し,野生鳥獣による農作物被 害を軽減。また、サル被害対策としてGPSを活用した行動域の把握と犬の鳴き声による追い払いの効果を確認中

### 鹿屋市の課題 【農作物被害の現状】 ・ 鹿屋市の野生鳥獣による農作物被害 額は、平成23~26年度の3年間で約 4.4倍に増加 被害額全体の8割近くがイノシシと サルによる被害 9.425 10,000 **⊋** 7,500 4,813 5,000 3.730 2,138 2,500 H23 H24 H25 H26 ■イノシシ ■サル ■その他 23% H26 (イノシシ被害) 40% 【現場のニーズ】 住民からは (サル被害) ・有害鳥獣の捕獲を進めて欲しい。

・侵入防止柵を設置して欲しい。

・鳥獣を寄せ付けない環境整備も必要

専門的な知識を有した指導者が必要

行政としては

### 対策の効果と主な取組 【対策の効果】 「寄せ付けない」「侵入を防止する」「個体数を減 らす」を柱とした総合的な被害防止対策を実践 し. 鳥獣被害を軽減 9,425 10.000 7,526 **7,500** 円 5,944 5,769 5,000 2,500 H27 H26 H28 H29 【主な取組】 研修会の開催 (年6回開催)

# ○集落ぐるみの鳥獣被害対策

- 〇実施隊による緩衝帯の設置
  - 地域と協力し、鳥獣被害が発生 している農地周辺に緩衝帯を設置
- 〇侵入防止柵の整備 〇近隣市町との広域捕獲の実施
  - ・近隣市町と連携した捕獲を実施
- ○鳥獣被害対策専門員の設置
  - 被害調査や集落点検の実施、侵入 防止柵や捕獲檻の設置などを指導
- 〇猟友会によるパトロールの実施 市内6つの全猟友会が、環境整備

指導や捕獲、追払い活動を実施。



(研修会の開催)

(緩衝帯の設置)

(専門員による指導

### 残された課題と新たな取組

### 【残された課題】

- 野生鳥獣による農作物被害は減少傾向にあ るが、サル被害の割合は依然として高い。
- ・サルは他の鳥獣と比べて学習能力が高いと 言われることや、狩猟者の精神的な負担を 伴うこと、群れを分散させない高度な捕獲 技術が求められることなどから、依然とし

## 【新たな取組】

て対策に苦慮。

近年. 鳥獣被害防止対策としても活用が進み つつあるICT等の新技術を活用したサルの 追い払い対策を実証中

捕獲したサルにGPS STEP1 首輪を取り付け、行動

域を把握





STEP2

首輪を装着したサルの群れに対して. モンキードッグを曝露



再びほ場に近づいてくるサルに対し STEP3 て、録音したモンキードッグの鳴き声 を拡声器等で響かせて追い払い

サルの追い払いによる被害軽減を目指す